

次世代EDINETタクソノミ（案）第二版概要

1. 次世代EDINETタクソノミ（案）の特徴

次世代EDINETタクソノミの主な特徴は、次のとおりです。

[XBRL対象範囲]

EDINETにおけるXBRLでの提出は、平成20年4月以後開始する事業年度から行われていますが、現行EDINETにおけるXBRL対象範囲は財務諸表本表に限られています。次世代EDINETでは、有価証券報告書等については、報告書全体がXBRL対象範囲になります。また、公開買付届出書、大量保有報告書等が新たにXBRL対象範囲となります。

次世代EDINETにおけるXBRL対象範囲については、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』の「2-1-1 XBRL対象範囲」を参照してください。

[タグ付けの粒度]

次世代EDINETは、開示項目を個々の金額、開示事項等の最小単位ごとにタグ付けする手法（以下「詳細タグ付け」という。）に加えて、文章、表、複数の金額項目等を一定の塊でタグ付けする手法（以下「包括タグ付け」という。）を併せて採用し、詳細タグ付けする対象と包括タグ付けする対象とを区別します。

財務諸表本表以外で詳細タグ付けする主な対象範囲は、次のとおりです。

＜有価証券届出書、有価証券報告書、半期報告書及び四半期報告書＞

- ・ 主要な経営指標等の推移
- ・ 大株主の状況
- ・ 貸借対照表関係
- ・ 損益計算書関係

＜大量保有報告書＞

- ・ 報告書全体。ただし、借入先の名称、借入金の内訳等を除く。

＜公開買付届出書及び公開買付報告書＞

- ・ 買付け等を行った後における株券等所有割合

タグ付けの粒度については、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』の「1-4-1 インラインXBRLのタグ付け方法」及び「2-6 詳細タグ付けの範囲及び方針」を参照してください。

[インラインXBRL]

現行EDINETは、開示書類等提出者から提出されたXBRLデータをHTMLに変換する表示変換方式を採用しています。次世代EDINETは、開示書類等提出者がXHTMLファイルにXBRLタグを埋め込んだインラインXBRLファイルで提出するインラインXBRL方式を採用します。インラインXBRLファイルは、ブラウザでHTMLと同様に表示することができます。また、提出されたインラインXBRLファイルからXBRLインスタンスファイルを作成し、利用者に提供することもできます。

インラインXBRLについては、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』の「1-4 インラインXBRL」を参照してください。

[ディメンション]

ディメンションとは、「表示項目」と「ディメンション軸」の組合せによってインスタンス値を設定する手法です。

例えば、株主資本等変動計算書は、現行EDINETにおいては変動要因と純資産の内訳項目の組合せごとに表示項目として要素定義を行っています。次世代EDINETでは、変動要因は表示項目として、純資産の内訳項目はディメンション軸のメンバーとしてそれぞれ要素定義し、インスタンス設定は、変動要因と純資産の内訳項目の組合せで行います。

ディメンションについては、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』の「1-5 ディメンション」を参照してください。

[財務諸表本表タクソノミに係る変更点]

財務諸表本表タクソノミは、現行EDINETとのデータの連続性を重視する一方、次世代EDINET全体との整合性を確保する必要性から主として次の変更を行います。

- ・ 連結又は個別、純資産の内訳項目及び遡及処理に関してディメンションを採用します。これに伴い、株主資本等変更計算書及び遡及処理に係る要素を変更します。
- ・ 現行 EDINET では財務諸表本表種類別のラベル切替えのために名称リンク拡張リンクロールを使用していますが、次世代EDINET では名称リンク拡張リンクロールを廃止し、ラベル切替えは、preferredLabel によるラベルロールの指定に一本化します。
- ・ 正値及び負値が一つの勘定科目要素として定義される場合、現行EDINETでは正値表現を標準ラベルとしていますが、次世代EDINETでは正値負値表現（例えば、「当期純利益又は当期純損失（△）」）を標準ラベルとします。これに伴い、英文冗長ラベルも変更しますが、データの継続性の観点から要素名は変更しません。
- ・ 財務諸表本表部分のXBRLについても、次世代EDINETでは表示変換方式ではなくインラインXBRL方式での提出となります。インラインXBRL方式の採用に伴い、表示情報ファイルは廃止します。
- ・ DEIタクソノミの採用に伴い、文書情報タクソノミは廃止します。

財務諸表本表に係る変更点については、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』の「2. 現行EDINETと次世代EDINETの違い」を参照してください。

なお、利用実績に基づく要素の追加及び要素の削除も行います。財務諸表本表タクソノミの要素の追加、削除及び変更については、『財務諸表本表タクソノミ更新概要』を参照してください。

[株主資本等変動計算書のレイアウト変更]

現行EDINETにおいては、当期首残高、当期変動額及び当期末残高を純資産の内訳ごとに繰り返し縦一列に記載するレイアウトを前提としていますが、次世代EDINETにおいては、横軸に純資産の内訳項目を、縦軸に変動要因をそれぞれ記載するマトリックス形式のレイアウトに変更します。次世代EDINETでのレイアウトについては、『サンプルインスタンス』を参照してください。

なお、当該レイアウト変更のための財務諸表等規則等の改正は、次世代EDINETタクソノミの適用開始時期に合わせて調整する予定です。

[その他の新仕様]

XBRL対象範囲の拡大に対応するために、タクソノミの分割、様式ツリーと詳細ツリーの構造等の新仕様を採用します。新仕様の概要については、『EDINETタクソノミ新仕様の概要説明』を参照してください。

2. 平成24年6月25日版からの主な変更点

[タクソノミ]

次の①、②等、御意見を踏まえたタクソノミ項目の追加、削除及び設定内容の変更を行っております。

① DEIに会計基準、連結決算の有無、別記事業（連結）及び別記事業（個別）を追加しました。理由は次のとおり。

- ・ これらは、財務諸表に関する基礎的な情報であるため、XBRLデータを利用するためには機械的に確実に取得できることが望まれるため。

② 報告セグメントのメンバーを削除しました。理由は次のとおり。

- ・ 報告セグメントの設定はマネジメント・アプローチであるため、標準化になじまない。
- ・ 同一の報告セグメント名称を用いても会社ごとに事業内容が異なることが多いため、EDINETタクソノミで報告セグメントのメンバーを用意することは、誤解を招く恐れがある。

[ガイドライン]

① 英語ラベルは、冗長ラベル以外は上書き可能としました。理由は次のとおりです。

- ・ タクソノミ項目の概念は、日本語ラベル、参照リンク等で規定されており、英語ラベルは参考訳との位置づけである。
- ・ 上書き可とすることで、会社が作成する英文財務諸表とXBRLデータの英語ラベルを一致させることが容易になり、無用な企業拡張要素を作成する必要がなくなる。

3. 次世代EDINETタクソノミ（案）の根拠法令等

次世代EDINETタクソノミ（案）に基づく主な根拠法令等は、次表のとおりです。

なお、各根拠法令等の改正日付に注意してください。

企業内容等の開示に関する内閣府令（平成23年9月30日）
特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令（平成23年11月16日）
発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令（平成23年7月29日）
発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令（平成23年7月29日）
株券等の大量保有の状況の開示に関する内閣府令（平成21年12月28日）
財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制に関する内閣府令（平成19年8月10日）
財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年11月16日）
連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年9月30日）
中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年9月30日）
中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年9月30日）
四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年6月30日）
四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成23年8月31日）
銀行法施行規則（平成23年11月16日）
保険業法施行規則（平成23年11月16日）
電気事業会計規則（平成23年10月21日）
特定目的会社の計算に関する規則（平成23年11月16日）
特定目的会社に係る監査上の実務指針（業種別委員会実務指針第47号）（平成23年12月5日）
投資法人の計算に関する規則（平成23年11月16日）
投資信託財産の計算に関する規則（平成23年11月16日）
商品先物取引業統一経理基準（平成22年2月）

4. 今後の予定及び適用開始時期

次世代EDINETタクソノミの適用開始時期の詳細は未定ですが、次の表の工程を経て平成25年度中の適用開始を予定しています。

タイミング	工程	内容
平成 24 年 11 月 ～平成 25 年 4 月	提出者向け事前チェック テスト	任意のテスト参加者が次世代 EDINET タクソノミ (案) を用いて XBRL 書類を作成し、次世代 EDINET の事前チェック機能による検証を試験的に行うことができます。
平成 25 年 2 月 ～3 月	次世代 EDINET タクソノミ (案) の年次更新	次世代 EDINET タクソノミ (案) の年次更新についてパブリックコメントを行い、結果を反映し公表します。
平成 25 年 4 月頃	開示書類等提出者及び利用者向け説明会	開示書類等提出者及び利用者に対して、XBRL 関連機能を含む次世代 EDINET の機能に関する説明会を開催します。全国の財務 (支) 局等ごとに行います。
平成 25 年 5 月 ～7 月	次世代 EDINET の総合運転試験	開示書類等提出者及び利用者から広く参加者を募り、XBRL 関連機能を含む次世代 EDINET に関する試験を行います。
平成 25 年 8 月 ～9 月	次世代 EDINET タクソノミの公表	総合運転試験の結果を踏まえて、次世代 EDINET タクソノミを公表します。
平成 25 年度中	次世代 EDINET の稼働開始、次世代 EDINET タクソノミの適用開始	次世代 EDINET の稼働開始及び次世代 EDINET タクソノミの適用開始時期は、総合運転試験の結果を踏まえて、最終決定する予定です。